

# SSKP 船橋障害者自立生活センター

50

# わくわくニュース

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花鳥ビル1F  
URL: <http://www.cil-funabashi.org/>

TEL: 047-432-4554 / FAX: 047-432-4565  
E-Mail: [cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)

## 2006年度 総会を開きました

### ～ 新しい事務局長に田沼敏夫さん ～

2006年度の定期総会を、6月4日に中央公民館で行いました。

当日は、理事の川嶋徳人さんの司会で始まり、代表挨拶に続いて、来賓としておいでいただいた船橋市障害福祉課の竹内課長と船橋市社会福祉協議会の長島事務局長のお二人から激励のお言葉をいただき、理事の宮尾修さんを議長に選出して議事に入りました。

その結果、2005年度の事業報告、決算報告、監査報告、2006年度の事業計画及び予算案がいずれも原案通り承認されました。また、目的の部分の見直しと障害者自立支援法の下で制度化される障害者ケアマネジメント事業を事業項目に追加した定款の改定案も承認されました。

最後に役員改選が行われ、向こう2年間の新しい理事が選ばれました。そして、新メンバーによる第一回の理事会が6月24日に開催され、互選の結果、田沼敏夫さんが新しい事務局長に選出されたほか、右記のような体制が決まりました。

これまでと同様に、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

役職	氏名
代表理事	杉井 和男
専務理事・事務局長	田沼 敏夫
理事	川嶋 昭宜
理事	川嶋 徳人
理事	木下 浩行
理事	福本三之助
理事	前田 満子
理事	宮尾 修
理事	山本 明
理事	和田みどり
監事	柿沼 次男



右から  
宮尾議長  
杉井代表  
川嶋さん

参加者の皆さん



# 『自立生活プログラム』受講生募集

自立支援法が2006年4月1日からスタートし、旧支援費制度とは違って、さまざまな点で当事者の生活を圧迫しかねない状況が全国津々浦々に広がりを見せています。こうした中、当センターでは『自立生活プログラム』を下記の要領で開催いたします。

日時：7月10日から9月11日までの毎週月曜日(祝日とお盆の時期を除く)全8回  
13:30～16:30

会場：女性センター

費用：受講料は無料(但し交通費・食材費等は実費徴収)

回	日付	テーマ	リーダー	サブリーダー
1	7月10日	自己紹介と目標設定	杉井	田沼
2	7月24日	障害について考えよう	杉井	山本
3	7月31日	介助者との関係	杉井	山本
4	8月7日	外出の計画作り	杉井	田沼
5	8月21日	フィールドトリップ	杉井	田沼
6	8月28日	自立生活入門	杉井	宮尾
7	9月4日	自立生活者のお宅拝見	杉井	山本
8	9月11日	反省会と打ち上げ	杉井	田沼

申し込み・お問い合わせ： 船橋障害者自立生活センター相談室

Tel : 047-495-6777 Fax : 047-495-6776 メール : cil-funabashi@cil-funabashi.org

## ピアカウンセリング セミナーのお知らせ

障害者自立支援法が施行され、障害者を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。「応益負担」、「認定区分」など、今まで聞いたことのない言葉が踊り、ますます不安が大きくなります。

そのような人たちのために、私たちは「ピアカウンセリング」という技法を障害者のサポートとして役立てています。

今回は「ピアカウンセリング」の手法や効果を知っていただくために「ピアカウンセリングセミナー」という形で公開講座を下記の要領で開催いたします。

通常、「ピアカウンセリング」は障害をもっている人同士で行われます。従って、障害者以外、例えば施設職員、家族、介助者などは、会場の外で待機することになり、「ピアカウンセリング」の実際のやり方や魅力を理解することができません。

この公開講座は、障害者に対するサポートとして「ピアカウンセリング」を知っていただくために広く一般の方でも参加していただける形にしました。

どなたでも受講していただけますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

日時	: 8月5日(土)13時30分から16時30分まで
場所	: 船橋市中央公民館
定員	: 30名
参加資格	: ピアカウンセリングに興味がある方。障害の有無や種類・程度は問いません。
受講料	: 船橋市障害者生活支援事業の一環として行われますので無料です。
申込み	: 事務局まで電話かFAX、メールなどでお申し込みください。

# DPI 日本会議大阪大会に

## 参加しました

DPI 日本会議の2006年度総会及び結成20周年記念大会が去る6月11・12日の両日、大阪府堺市の泉が丘センタービル(通称ビッグアイ)で開催されました。

参加者は2日間で600人、遠方からの参加者も多く、盛会でした。11日は日本会議で2006年度の総会があり、前年2005年の活動報告と決算報告及び今年度の活動方針案が提案され、意義なく承認されました。夕方からは結成20周年を祝う懇親会が開かれ、1985年の結成以来組織の議長を務めた5人の議長経験者(宮尾はその一人)が集まり、20年の歴史を振り返るスライドなどを見ながらそれぞれに感想を述べたりしました。

12日は午前中が国連での採択を目指している「障害者権利条約」の問題が議題になり、韓国DPI会長のイ・イクソブ氏が「来年の9月17日からソウルで2007年の世界DPI会議が開かれる予定である基調演説者にキム・デジュン前大統領を予定している」と述べました。

午後は自立支援法の問題などに絡んで7つの分科会があり、宮尾は竹林悟史前千葉県障害福祉課長がシンポジストになった「権利擁護」の分科会に参加しました。30人位の集まりでしたが竹林氏からは千葉県議会で審議中のいわゆる障害者差別解消条例の説明があり、「いろいろ難しい問題はあるが、なんとしても条例の実現を図るべきである」とのコメントが述べられました。宮尾にとっては三沢議長、楠木準備委員長他、旧知の人も多く、長橋元議長のような懐かしい人との出会いなどもあって有意義な2日間でした。



(宮尾記)

## カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。  
厚くお礼申し上げます。

小川里様	野積邦義様	金山恵子様	三堀昇・恭子様
福元高明様	山田詩朗様	前だ満子様	吉峯啓晴様
米本桂様	山形正夫様	船橋社会福祉士会様	

## 会費納入のお願い

月日が経つのは早いもので、私たちのセンターも設立以来15回目の春を迎えました。年度が変わり、事務局一同、気持ちも新たに活動に精を出しています。

ただ、当然のことですが、活動をしようとするれば自ずと財政規模も膨らみ、運営が厳しい状態は変わらずにつづいています。そこで、新年度草々のお願いで恐縮ですが、会員の皆さんには今年度の会費をお支払いいただきたいと思えます。同封の振込用紙をご利用の上お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員の方が年間3,000円、賛助会員の方が年間5,000円、団体が年間10,000円となっております。

### 同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパ(もちろん強制ではありません)などを送っていただく際に、便利なように同封したものです。

なお、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
身体障害者定期刊行物協会  
頒価 100円

## 夏休みのお知らせ

梅雨もまだ明けていないというのに、ちょっと気が早いような気がします。事務局の夏休みのお知らせです。

センター事務局では、8月14日から16日まで夏休みとして休業します。この間の介助派遣などを希望される方はできるだけ早めにご連絡くださいますようお願いいたします。

なお相談室は通常通り開いています(ただし15日は休み)。



### 編集後記

障害者自立支援法が施行されて3か月。早くもいろいろなところに影響が出ているようです。その一つが施設や病院で過ごしている障害者の間に急速に自立への意識が芽生えているということです。恐らくは「定率負担」によって負担が大きくなっていることが要因になっているものと思われます。

自立を目指す仲間が増えること自体は喜ぶべきなのですが、その背景を考えるとフクザツな気分です。